

市立武蔵野会館

第41号

あいスポットフレズ

発行元 市立武蔵野会館運営協議会
 責任者 会長 村木 勉
 事務局 昭島市市民部生活コミュニティ課
 042-544-5111 (代表)

CONTENTS

P 1 総会報告 P 3 総会報告
 P 2 総会報告 P 4 委員会報告他 活動日誌

第13回 定期総会が開催されました

平成30年5月20日午後3時から、武蔵野会館において武蔵野会館運営協議会第13回定期総会が、臼井市長はじめ、21名のご来賓のご臨席と40名の運営協議会構成委員の出席のもと開催されました。

議事は、岸事務局長の司会で、中野副会長の開会の言葉で始まり、会長挨拶、ご来賓の臼井市長のご挨拶、資格審査、と続き、議長に、メゾン自治会の古屋俊美氏、議事録署名人にブルーミングガーデン自治会の森田誠一氏を選出して議案の報告、審議に入りました。

議案は、平成29年度活動報告、決算報告、監査報告に続き、平成30年度活動計画案、予算案、役員補充案、個人情報取り扱い会則案と続き、皆様のご承認をいただきました。

続いて、ご来賓の武蔵野小学校岡部校長にご挨拶をいただき、ご来賓の紹介、閉会の言葉で終了しました。

その後、学習室で交流会を行い、地域の絆についての議論で盛り上がりました。



村木 会長

利用者本位の運営と利用率の高さを継続し、「いつまでも住み続けたい街」、子供たちにとって「故郷と呼べる街」づくりを目指して各種活動に取り組んでまいります。

子どもたちは、生まれ育った地域を忘れません。地域がしっかりしていることは安心感があります。武蔵野会館運営協議会のますますの充実、発展を期待しています。



岡部 校長

武蔵野会館運営協議会の自主独立のしっかりした活動に敬意を表します。

昭島は、「水」と「クジラ」と「地域の和」

を大切に守ります。

『「住んでみたい。住み続けたい。訪れてみたい」昭島』を目指します。

昭島大好き！！



臼井 市長

第13回定期総会

平成29年度活動報告

○事務局関係

- 1：第12回定期総会を開催し、退任役員に感謝状を贈呈しました。また定例役員会を生活コミュニティ課市民活動推進係の担当者同席のもと開催し、情報収集、意見交換を行いました。
- 2：消防法第8条に基づき昭島消防署大神出張所の協力を得て、協議会役員・管理員が担当して利用者を対象とした避難誘導・通報訓練・初期消火訓練を実施しました。
- 3：協議会構成員有志のご協力をいただき、会館内外の清掃、備品の補修、和室の障子張替などを行いました。また協議会役員有志で樹木の剪定を行いました。
- 4：会館の管理員と市教育委員会生涯学習部社会教育課、市民部生活コミュニティ課の職員との顔合わせ会を実施しました。

○安全まちづくり委員会

- 1：安全まちづくり委員会協力員（通学路安全連絡員）、青パト（青色回転灯装備車）運転協力者の協力を得て、地域内の安全見守り活動を行いました。
- 2：市・警察・青パト運転協力者との連絡会を開催しました。尚、運転協力者の人数が年々減少し、人員確保が課題となっています。
- 3：新入学児童安全会議は、会議室の確保や小学校の都合がつかないため今年度は中止しました。

○美しい街づくり委員会

- 1：美化・マナーアップ・キャンペーンとして地域の自治会・老人会・中神工業団地協力会・中神北口商店会などの協力を得て、携帯ポケットティッシュを配りながら「タバコのポイ捨て」「犬の糞持ち帰り」のアピールと中神駅北口広場の清掃活動を年2回実施しました。
- 2：春秋の2回、武蔵野小学校の児童と協働して、武蔵野通りに約700株の花を植えました。また武蔵野会館敷地内の花壇づくりに取り組みました。
- 3：地域内アダプト登録団体がそれぞれ地域を決めて定期的に活動しました。尚、平成29年度から新しくむさしのクリーンクルー（むさしの自治会）がアダプト登録を行い、より一層広域での清掃活動が行われることとなりました。

○心と身体の健康づくり委員会

- 1：AED（自動体外式除細動器）の講習会を開催しました。
- 2：武蔵野会館近隣地区のAED設置場所の確認を行い、一覧表を作成しました。
- 3：昭島市中部地域包括支援センターから講師を

お招きして認知症講習会と映画鑑賞会を行いました。

○防災委員会

自治連第15ブロックと協働して、武蔵野小学校の芝生エスで防災コーナーを設け防災意識の向上に努めました。また瑞雲中学校の生徒さんとそれぞれの地域で自治会独自の防災訓練を行いました。

また「東京防災」をテキストとして学習セミナーを開催しました。

○会館まつり実行委員会

第12回会館まつりを例年通り11月3日（金・祝）に「深めよう地域の絆」を目的に、大勢の方々のご参加をいただき、舞台発表、作品展示、茶話会、模擬店などを実施しました。

今年も、舞台発表の司会者や、音響機材の取り扱いなどは、運営協議会の役員・会員が主体的に進めました。

○広報活動

広報誌「あいスポットプレス」を年4回、カラー印刷で発行し、協議会の4つの委員会の活動、会館まつり、構成団体の活動などを紹介しました。また、ホームページは、自治連のホームページを利用させていただき、活動内容の周知を図りました。

○決算報告・監査報告

提案通り承認されました。



平成30年度活動方針

平成30年度は、市立武蔵野会館運営協議会（以下「協議会」という。）が設立されてから13年目となります。役員改選で新任の役員も2年目の活動となり、充実した事業に取り組む大切な年であり、

協議会は、武蔵野会館の管理・運営の一部を担っており、地域の活動拠点として、利用者の皆様にとって、利用しやすくまた利用率の高い会館運営を目指して、今後、更に一歩一歩力強く、大きな目標を掲げて、積極的かつ活発に活動を続けてまいります。

これまで培ってきた市立武蔵野会館の利用者本位とした運営、会員（構成員）はじめ地域の皆様のご理解とご協力をいただいで進めてきた地域課題解決に取り組む各委員会の活動など、新しい地域コミュニティの醸成と充実を図り、役員一同一丸となって協議会の推進育成に努めてまいる決意であります。

どうかこれからも会員（構成員）の皆様のお智慧とお力をお貸しいただけますようお願い申し上げます。

各委員会の今年度の活動方針は、以下のとおりです。

○事務局・総務

- 1：計画的、効率的な予算の執行
- 2：会館の保守・点検・整備・整頓状況の確認と一部実施
- 3：会館の消防訓練の実施
- 4：管理員との連携と打合せの実施（会館マニュアル等研修）
- 5：利用者懇談会の有り方の検討・実施
- 6：市ほか外部関係団体との連携と調整

○安全まちづくり委員会

- 1：安全委員会見守り協力員（通学路安全連員）の見直しと加入促進
- 2：青パト運転協力者連絡会の実施と協力員の加入促進
- 3：青パト運転協力者・市・警察との連絡会の開催
- 4：「ピーポくんの家（緊急避難場所）」の拡充と設置促進
- 5：新入児童安全対策（見守り）会議の見直し

○美しい街づくり委員会

- 1：美化・マナーアップ・キャンペーンの実施
- 2：武蔵野通り（武蔵野小学校通学路）並びに武蔵野会館の花壇植栽と管理
- 3：アダプト登録団体設立の呼びかけ

○心と身体の健康づくり委員会

- 1：健康講座・勉強会（認知症を主とした）の開催と参加者の拡大
- 2：緊急救命訓練やAED操作体験会（入門コース）を通して、「救命技能認定証」の所有者の拡大
- 3：地域健康講習会利用団体への会場確保の協力

○防災委員会

- 1：自治連第15ブロック地域合同防災訓練の実施（第15ブロックと連携・協働）
～東京防災隣組認定団体としての活動も踏まえて、瑞雲中との連携～
 - (1) 瑞雲中・武蔵野小・つつじが丘小と連携した避難訓練の検討・実施
 - (2) 「学校避難所運営委員会」の委員会審議事項に沿った訓練の実施
 - (3) 講演会等
- 2：市立武蔵野会館の避難場所としての位置づけと運営の検討

○会館まつり実行委員会

- 1：今年も「第13回会館まつり」の実施を目指し、実行委員会を立ち上げ11月3日に開催する。

○広報活動

- 1：広報誌「あいスポットプレス」の発行
- 2：ホームページの都度更新を進め、内容の充実を図る。

○予算案について

一般会計、管理会計ともに承認されました。

○役員の補充

ブルーミングガーデン自治会から、森田誠一氏を役員として加える件について提案、承認されました。

○個人情報取り扱い会則の制定

個人情報の取り扱いの大切さを認識していただくために提案、承認されました。

平成30年度武蔵野会館運営協議会役員		
役職名	氏名	担当
会長	村木 勉	
副会長	中野 義弘	会長代行
副会長	荒井 真一	安全
副会長	山口 義春	美しい
副会長	青山 敦司	健康
副会長	畑山 敏夫	防災
事務局長	岸 昭次	
会計	久保 真由美	経理
総務	藤原 国広	広報
総務	望月 進次	安全
総務	田副 彰三	安全
総務	布施 正	美しい
総務	三沢 俊之	健康
総務	福田 協司	防災
総務	山内 工	防災
総務	森田 誠一	安全
監事	菅野 常三	
監事	大槻 修久	
顧問	座間 康臣	

安全：安全まちづくり委員会 美しい：美しい街づくり委員会
健康：こころと身体の健康づくり委員会 防災：防災委員会

■ 美しいまちづくり委員会

◇武蔵野小通学路花壇の整備を行いました

平成30年度第1回目は、6月1日（金）に古い花の引抜き、3日（日）に土の掘起こし、6月14日（木）に新しい花（マリーゴールド、ポチュラカ、日日草、ペゴニアなど）約700株植え付けを行いました。

引抜きと植付けには、学習の一環として武蔵野小学校3年生が協力してくれました。



■ 安全まちづくり委員会

◇新入学児童見守り会議について

安全まちづくり委員会では、安全まちづくり委員会協力委員、青パト運転協力者、武蔵野会館運営協議会役員による新入学児童見守り会議を毎年1回開催していましたが、今年は諸般の事情で開催できませんでした。

この会議は、学校、市、警察など関係各位をお呼びして、いろいろな取り組みの状況や交通安全、防犯などの付いてのお話しをいただき、日常団体や個人で地道な活動をしている協力員との情報交換の場であると同時に、モチベーション向上の役割も考えています。

今後の開催については内容、時期、など見直して継続できるようにしたいと思います。

武蔵野会館運営協議会活動日誌

5月

- 3日 29年度決算・事業監査
- 9日 定例役員会
- 13日 第15ブロック定期総会
あきしま・街づくり市民会議・なかがみ定期総会
- 16日 議案書印刷・製本
- 20日 第13回定期総会

6月

- 1日 武蔵野通り花壇整備（引抜き）
- 3日 瑞雲中運動会
武蔵野通り花壇整備（掘起こし）
- 13日 定例役員会
- 14日 武蔵野通り花壇整備（植付け）
- 19日 青パト運転協力者会議
- 21日 あいスポットプレス41号発行

ご存知ですか？ 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の約5,000個の金・銀・銅メダルを全国各地から集めたリサイクル金属で作る国民参画型プロジェクトです。東京2020大会をきっかけに、持続可能社会の仕組みを作る取り組みで、東京2020組織委員会が主催しています。昭島市もこのプロジェクトに協力し、武蔵野会館を含む昭島市内18箇所に設置した小型家電回収ボックスに投入された小型家電がメダルの原料となります。このボックスの回収対象品目は以下の11品目で、たて約15センチメートル、よこ約30センチメートルの投入口に入るものに限り、回収対象品目以外のは投入しないでください。また、データはご自身で消去してから投入してください。

回収対象品目

- ・携帯電話（スマートフォンを含む）、PHS、電話機
- ・デジタルカメラ、家庭用ビデオカメラ、電子辞書、ICレコーダー
- ・ゲーム機（据置型、携帯型）、テープレコーダー（デッキを除く）
- ・デジタルオーディオ（フラッシュメモリ、HDD）、携帯型オーディオ（CD、MD）

昭島市はごみ減量のためいろいろな取り組みを行っていますが、武蔵野会館ではその他「古着・古布」「インクカートリッジ」の回収を行っています。



武蔵野会館運営協議会は、あいスポットプレス36号で周辺のAED設置状況を表にしてお配りしましたが、その後リストへの掲載にご協力いただける事業所などが7件増えましたので、追加して改めてお配りすることになりました。ご協力に感謝します。